

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (1/3)

学部・学科	臨床心理学部・臨床心理学科	職名	教授	氏名	ウ 禹 ジョ ン テ テ
学歴	昭和60年 2月 国立(韓国)慶北大学校社会科学大学心理学科 卒業 昭和60年11月 国立(韓国)慶北大学校教育大学院(修士課程)相談心理学専攻 中途退学 平成元年 3月 京都大学大学院教育学研究科(修士課程)教育方法学専攻 修了 平成 4年 3月 京都大学大学院教育学研究科(博士課程)教育方法学専攻 単位取得満期退学 平成 8年 3月 総合研究大学院大学文化科学研究科(博士後期課程)国際日本研究専攻 修了				
学位	平成元年 3月 教育学修士(京都大学) 平成 8年 3月 学術博士(総合研究大学院大学) 甲第164号				
専門分野	分析心理学、文化臨床心理学				
専門資格					
所属学会	平成 2年 9月 日本心理臨床学会 平成 3年 4月 日本箱庭療法学会 平成 9年 2月 韓国児童心理再活学会 平成16年 5月 韓国箱庭療法学会 平成18年 4月 日本心理学会				
受賞					
担当 授業科目	学 部 臨床コミュニケーション論、臨床心理学演習、臨床心理学研究法演習 ・ 、臨床心理学総合演習 ・ 、臨床心理学実践演習(夢分析1)、ユング心理学 大学院 臨床心理面接特論B、心理療法特演 -B、臨床心理学特演I-A・ -A、臨床心理学研究法特演I-A・ -A、臨床心理学研究法特演I-B・ -B				
論文指導	論文指導担当[主査](卒論: 6名、修士論文: 3名) 論文審査担当[副査](卒論: 13名、修士論文: 3名)				
教育実績 (FD活動)					
その他の 教育実践 活動実績					
H25年度 研究課題	学部・大学院(博士前期課程)共通 1. 夢分析の臨床的応用 2. 物語分析を通して人格を理解する 3. フィギュア・シアターの臨床的活用 4. 箱庭療法と倫理療法				
研究活動の 概要の (平成二十五 年度)	1. 分析心理学的知見を心理臨床活動実践に活用すべく研修会・研究会活動を行った (International School of Analytical Psychology の研究会に参加し、韓国箱庭療法学会において研修会講師を務めた。) 後述:(学会報告、学会活動) 2. Figure Theater の臨床的活用可能性を模索し、韓国ソウル市立児童心理治療センターの協力のもと、研究会を主宰した。 後述:(調査活動)				
主な研究 成果等 (平成二十五 年度)	(著書) (論文) (学会報告、学会活動) 1. 韓国箱庭療法学会研修会(事例検討会)講師、平成25年8月・平成26年1月、ソウル (その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)				

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (2/3)

平成二十五(2013)年度の 主な研究成果等	(調査活動) 平成25年 8月 Figure Theater療法適用調査(対象:思春期児童)および検討会、 於:韓国ソウル市立児童心理治療センター
	(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等) (学内活動) 学生部長、学生相談室長、大学運営会議委員、大学教学会議委員、自己点検・評価委員会委員、 自己点検・大学院委員会委員、自己点検・評価 管理運営専門委員会委員、自己点検・評価 教育 研究専門委員会委員、キャンパス・ハラスメント防止対策委員会委員、広報委員会委員、人事委 員会委員、学生相談室運営委員会委員
平成二十五 (2013)年度の 社会における活動	(NPO 法人等の団体への参画) ・ 総合研究大学院大学(国際日本文化研究センター)メンタルヘルス担当カウンセラー 「平19.4より」
平成二十一 ~二十四(2008 ~2012)年度の 主な研究成果等	(著書) 1. 「人間モーゼと一神教、心理学と宗教」、共著、平成22年3月、ナツメ社、編著者:山中康裕、 心理学対決!フロイト対ユング(pp.160-163) 2. 「倫理問題における文化的要因」、共著、平成24年4月、日本評論社、編著者:伊原千晶、『心 理臨床の法と倫理』(pp.183-194)
	(論文) (学会報告、学会活動) 1. 事例論文へのコメント「梶田論文を読んで」、単著、平成21年2月、天理大学カウンセリング ルーム紀要 第5号(pp.134-136) 2. 韓国箱庭療法学会研修会(事例検討会)コメンテータ、平成21年8月、ソウル 3. 韓国箱庭療法学会研修会(事例検討会)コメンテータ、平成22年8月・平成23年1月、ソウル 4. 韓国箱庭療法学会(事例検討会)講師・コメンテータ、平成23年8月・平成24年1月、ソウル 5. 韓国箱庭療法学会研修会コメンテータ、平成24年8月・平成25年1月、ソウル
	(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等) 学術交流に関する活動: 平成13年度より大学院臨床心理学研究科教員が参加する「日韓学術交流会」を企画・運営し、 現在7回の交流会が行われた。この交流会は参加教員の国内での研究成果を海外の専門家に発信 する貴重な機会となっている。同時に韓国の専門家との情報交換・交流の場ともなっている。
	(調査活動) 平成23年度 Figure Theater療法の心理学的活用の試みに関する調査(対象:韓国の青年) 於:韓国ソウル東部児童相談所
	(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含) 平成21年3月 平成19-22年度科学研究補助金(基盤研究C)「心理療法家の専門性と職業環境の国 際比較」(課題番号20530648・研究代表者:名取琢自)の研究分担者として、国際 比較調査(韓国の心理臨床家における専門性について調査研究)を行った。 平成21年度 上述の科学研究補助金による研究の研究分担者として、海外の心理臨床家とのイ ンタビュー調査を通して得られた資料の統計学的・心理学的分析を行った。 平成22年度 上述の科学研究補助金による研究の研究分担者として、調査結果の処理・分析を 行った。
	(学内活動) 平成15年 4月 研究員派遣調整委員会委員「平22.3まで」 平成20年 4月 臨床心理学部研究報告編集委員会委員「平22.3まで」 図書館・情報委員会委員「平23.3まで」 平成24年 4月 学生部長「現在に至る」

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (3/3)

平成二十一年度 の社会における活動	<p>(NPO法人等の団体への参画)</p> <p>平成19年 4月 総合研究大学院大学(国際日本文化研究センター)メンタルヘルス担当カウンセラー「現在に至る」</p> <p>(その他)</p> <p>平成24年 5月 京都文教教養講座 臨床心理学科テーマ:「音楽と物語」第1回講師、「オペラ作品にみる親子関係」於:京都文教大学</p>
----------------------	--